

吉野川市新生活モデル

結婚後、新たなライフステージを歩みだした皆様。

吉野川市は、マイホーム新築や子育て計画など、皆様の人生設計を支援するため、様々な制度をご用意しています。そんな吉野川市で新生活をスタートしてみませんか？

ここでは、支援制度を活用した、吉野川市での新生活モデルイメージをご紹介します。

吉野川新生活ストーリー ～太郎・花子の新生活～

新婚の吉野川太郎・花子夫妻（仮名）は2人の愛の巣を構えるため、移住先を探していました。

2人の目に留まったのは吉野川市です。そこには美しい風景があり、住みやすい環境があり、津波などの影響を受けにくいという利点がありました。

さらに、吉野川市は、吉野川夫妻のように、これから新生活を歩み始める人々をサポートする制度が充実したまちだったのです。



First stage : 太郎・花子の移住

吉野川市への移住を決意した吉野川夫妻。

これから始まる生活にワクワクが留まる場所を知らない、といった様子太郎君をしり目に、花子さんは不敵な笑みを浮かべています。そう、この時、花子さんは移住にあたっての妙案を見出していたのです。花子さんの妙案とはすなわち移住にあたり、とある制度を利用することでした。その制度とは…！



新婚世帯家賃補助事業 担当：企画財政課（☎ 22-2221）

市内の民間賃貸住宅に入居した40歳未満の新婚世帯の方に、月額最大1万円、最長24か月間、家賃補助を行います。

2人はこの制度を使い、マイホーム新築までの当面の間、アパートを借りて暮らすことにしました。これならば、何かと出費のかさむ新婚生活当初の家計も安心です。

Second stage : あこがれのマイホーム取得

吉野川市で新生活を始めた吉野川夫妻。実際に住んでみると、自分たちの生活スタイルに合ったまちであるという思いが強まってきました。家賃補助の効果で経済的な余裕も生まれ、あこがれのマイホーム新築に向けて、はやる気持ちを抑えられそうにありません。そして、そんな2人を応援する制度が吉野川市にはありました。

来て観て住んで事業 担当：企画財政課（☎ 22-2221）

市内に住宅を新築又は購入する40歳未満の方に補助金を交付します。

この事業では、新築の場合、基本額30万円、所定の条件を満たした場合、最大90万円の補助を受けることができます。

（購入の場合は基本額15万円、所定の条件を満たした場合、最大60万円）

吉野川夫妻は、この時、市外からの転入後すでに1年が経過していましたが、新婚世帯家賃補助の対象者は転入者とみなされることから、加算措置を受けることが出来ました。



※本事業は平成29年度から3年間限定の事業ですので、平成32年3月31日までに、所有権保存登記又は所有権移転登記を行い、かつ、補助対象住宅への入居及び住民票の異動を完了し、補助金の申請を済ませる必要があります。
詳しくは、担当までお問い合わせください。

木造住宅新築補助事業

担当：農林業振興課（☎ 22-2228）

市内業者を利用して木造住宅を市内に新築する方に市有林材を支給します。吉野川夫妻は木造住宅を建てることにしていたので、この事業を活用し、柱などに使える木材の支給を受けることが出来ました。これにより、建築費を安く抑えることが出来たのです。

空き家バンク

担当：都市計画住宅課（☎ 22-2225）

持ち主が売却や貸借を希望している空き家の情報を、市ホームページで提供します。

吉野川夫妻は活用しませんでした。安く住宅を手に入れたい方にとっては、頼もしい味方となってくれるでしょう。

木造住宅耐震改修支援事業

担当：建築営繕室（☎ 22-2224）

耐震改修の必要な木造住宅について、改修の際に補助を行います。

空き家バンクなどを活用して購入した中古住宅には、耐震性等に問題がある場合がありますが、これなら、中古住宅でも安心して住むことが出来そうです。

かくして、補助事業をうまく活用し、夢のマイホーム新築を達成した吉野川夫妻。大きな買い物ではありましたが、心は晴れやかです。

Third stage : 出産・子育て

マイホーム入居から2年後、花子さんは待望の第1子をお腹に宿しております。マタニティブルーな花子さんをよそに、手放しで大喜びの太郎君。不安な様子はまるでなく、なんだか頼もしい雰囲気すら感じさせます。いったいどうしたというのでしょうか？そう、彼は知っているのです。吉野川市は子育て世代を支援する制度の充実したまちであるということ！



よしのがわ幸せたくさん子だくさんセミナー事業

担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

これから結婚・妊娠・出産・育児を経験する結婚前提のカップル、結婚に興味のある20歳以上の方を対象に、結婚に向けてのスキルアップセミナーを開催します。



子育てハンドブックはぐくみ・イクメンガイドブック

担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

市の子育て支援関連情報を集約した子育て「はぐくみ」や、新米パパ向けの子育てヒント集「イクメンガイドブック」を配布しています。



子育て・女性活躍等応援サイト及びアプリ「チャチャナビ」

担当：子育て支援課、健康推進課、企画財政課

吉野川市の子育て・女性活躍に役立つ情報を集約しています。サイトで皆さんの素敵な笑顔の写真を「笑顔時計」として紹介したり、アプリでは、市からイベント情報や重要なお知らせをプッシュ通知で配信したり、お子さんの成長日記をつけられるなど、使って楽しい、便利なサイト&アプリです。

吉野川市 子育て・女性応援サイト

チャチャナビ
ChaCha-Navi



母子保健事業 担当：健康推進課（☎ 22-2268）

各種健診やマタニティ教室、妊娠・出産についての疑問にお答えする妊婦相談など、ライフステージに合わせ、妊産婦・乳幼児、子どもをもつ保護者の健康を支援します。



出産祝金 担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

子どもが生まれた場合に祝い金を支給します。

支給要件を満たす必要がありますが、第1子の場合は1万円、第2子の場合は2万円、第3子の場合は5万円、第4子以上の場合は10万円の支給を受けることができます。



ブックスタート事業 担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

4ヶ月児健康診査の際に、乳児とその保護者に読み聞かせの体験と、絵本などを贈呈します。

育児用品購入費助成事業 担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

吉野川市内の取扱店で購入した対象育児用品の費用を1歳までに4万円、1歳から2歳までに4万円、合計8万円助成します。

平成29年4月1日から、出生前に購入した育児用品も対象となりました。

子どもはぐくみ医療費助成事業 担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

子どもが病気やケガで通院・入院した場合の医療費のうち、保険診療にかかる自己負担分を助成します。

吉野川市では、中学校3年生修了まで助成を受けることができます。

（入院時食事療養費・移送費は除きます）



病児・病後児保育施設『さくらんぼ』『ひだまり』

担当：子育て支援課（☎ 22-2266）

保護者の就労等のため、病気の子どもの保育するのが困難な時や、集団保育が困難な場合に、病期中（病児）または病気回復期（病後児）にある1歳児から小学6年生までの児童を病院において一時的に保育します。

子どもの急な発熱時等にも安心して預けることができます。

吉野川市内には、山川町の医療法人さくら診療所内『さくらんぼ』と、鴨島町の石原小児科内『ひだまり』の2施設があります。

地域子育て支援拠点施設事業

吉野川市に住所を有する小学校就学前の乳幼児及びその保護者を対象に、親子の遊び場や交流の場、子育ての悩み相談の場を確保することで、子育て支援の充実を図っています。子育て中は楽しいことばかりではなく、不安や孤独感を感じることもあります。それらを少しでも緩和できるよう、以下の施設で事業を行っています。

川島こども園内「子育て支援センターちびっこドーム」

高越こども園内「子育て支援室ほたるルーム」

認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育所内「子育て支援館ぶどうの木」

鴨島かもめこども園内「地域子育て支援センターかもめ元気クラブ」

山瀬かもめこども園内「地域子育て支援センター山瀬わんぱく広場」

ほかにも、様々な支援制度があります。詳しくは「チャチャナビ」や、市ホームページの「新生活モデル紹介事業一覧」から各事業の詳細をご覧ください。

さまざまな支援制度があることがわかって安心顔の花子さん。

太郎君も子育てへの熱意をあらわにしています。2人ならば支援制度をうまく活用するとともに、その絆をもって、長い子育てロードを踏破していけることでしょ。



本稿では、吉野川夫妻の新生活を例に、吉野川市の補助制度を活用したライフモデルをご紹介しました。事業の詳しい内容については各事業に関するホームページ記事をご覧ください。担当課までお問い合わせください。

忙しい人のための新生活モデル見取り図

結婚

【 移 住 】

- ・ 新婚世帯家賃補助事業



新婚生活はいろんな出費がつきもの。家賃補助を受けて経済的なスタートを切りたいね。

あこがれのマイホームは補助を受けてお得に手に入れましょう。木造新築のコンビネーションでさらにお得よ！



【 新 築 】

- ・ 来て観て住んで事業
- ・ 木造住宅新築補助事業



よしのがわ幸せたくさん子だくさんセミナーに参加したり、イクメンガイドブックを読んだりすれば、子育てに向けての心構えはばっちりだ。

出 産

【 子 育 て 】

- ・ よしのがわ幸せたくさん子だくさんセミナー事業
- ・ 子育てハンドブック はぐくみ
- ・ イクメンガイドブック
- ・ 子育て・女性活躍等応援サイト及びアプリ『チャチャナビ』
- ・ 母子保健事業
- ・ 出産祝金
- ・ ブックスタート事業
- ・ 育児用品購入費助成事業
- ・ 子どもはぐくみ医療費助成事業
- ・ 病児・病後児保育施設 『さくらんぼ』『ひだまり』
- ・ 地域子育て支援拠点施設

etc...



子どもが生まれたなら、出産祝金を受け取ることが出来る。2人目以降は金額が増えるよ。

おむつやミルク代も、育児用品購入費助成事業で補助が出るし、ブックスタート事業では絵本が2冊も貰えて助かるわ。



子どもが病気になった時も、子どもはぐくみ医療費助成や、病児・病後児保育があるので安心だ。

子育てに悩んだときは、地域子育て支援拠点施設で相談に乗ってもらおう。皆様の新生活に幸あれ！

